

平成 27 年第 3 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	8	鎌内つぎ子	1 定住人口をふやすための子育て支援について (1) 子ども医療費を中学校卒業まで無料にし、所得制限をなくすことについて (2) 家賃補助について (3) 学校給食費の助成について (4) 定住促進センターの取り組みについて 2 新図書館の職員体制について (1) サービス拡充に向けた職員体制 3 移動支援事業の充実について (1) 重度障がい者向けのサービス
2	16	富田文志	1 防犯カメラ等の設置を推進するために条例を制定することについて (1) 大崎市内に設置されている防犯、防災カメラ（監視カメラ）等の数は把握されているのか ア 市内で把握されている防犯、防災カメラ等は何台か。用途区分で分けられるのであればその数は イ 把握されていないのであればなぜなのか。今後どのように対応していくつもりか (2) 防犯、防災カメラの有効性についてどのように考えるか ア 防犯カメラはどのようなことに利用されているのか イ 防災カメラはどのようなことに利用されているのか (3) 公共の場所に防犯カメラの設置を進めることについて ア 犯罪の未然防止と発生後の情報提供の重要性について イ 大崎市として防犯カメラの設置を進めることについて (4) 災害発生危険箇所に防災カメラの設置を進めることについて ア 災害発生の情報提供の必要性と防災カメラの設置を進めることについて (5) 適正な設置や安心した利用ができるための条例制定について ア 防犯、防災カメラが設置されることにより、プライバシー保護の観点から不安を感じる人が多いと言われていいる。大崎市でも適正な設置や安心した利用ができるための条例を制定する必要があると思うが、どうか
3	25	小沢和悦	1 大崎市民病院の改革について (1) 患者様への対応 (2) 労働基準法等の遵守 (3) 借り上げ公舎の管理、使用のあり方 (4) 医療機器購入等契約のあり方 2 放射能汚染物質の保管状況とこれからの対応について (1) 栗原市と大崎市の保管状況の違いはなぜ生じているのか (2) 人体への影響を完全に遮断する対策について (3) 放射能汚染物質の放射能汚染度測定調査の実施

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	2	佐藤仁一	<p>3 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 安倍政権の姿勢を、日本をまた海外で戦争する国に変えるものと見る市民の不安解消に市長はどう対応するのか</p> <p>(2) 環境省が指定廃棄物最終処分場の候補地の一つとしている加美町・田代岳を、機会を見て現地に行ってみるとしていたが、視察したか</p> <p>1 市民協働や議会協働の総括的課題を問う</p> <p>(1) 指定管理者制度や市民協働の課題をどう整理しているか</p> <p>(2) 議会協働の課題をどう捉えているか ア 図書館建設費増額過程など</p> <p>2 観光産業の成長戦略を問う</p> <p>(1) 大崎市観光振興ビジョンのアイデンティティ</p> <p>(2) 鳴子温泉療養保健システムへの挑戦</p> <p>(3) 地域一体型観光に必要な基盤整備策</p> <p>3 市民病院への不安、不信、医療事故等の防止策を問う</p> <p>(1) ソフト面の危機管理醸成策</p> <p>(2) 院内外協働と人材マネジメント</p>
5	3	八木吉夫	<p>1 平和希求のまち大崎市宣言について</p> <p>(1) 平和希求のまち宣言をしている大崎市として、多くの市民が不安を感じている安保関連法案に対して、市長はどのように考えているか、所見を伺う</p> <p>2 道の駅構想について</p> <p>(1) 千手寺周辺開発に伴う道の駅構想について</p> <p>(2) 真の道の駅を考えているのか、所見を伺う</p> <p>3 古川まつりについて</p> <p>(1) 古川まつりの道路規制延長にどのようにかかわっているか、伺う</p> <p>4 政治姿勢について</p> <p>(1) 市長が常々言っている、入るをはかって出ざるを制する政策を伺う</p>
6	11	横山悦子	<p>1 新幹線沿線の騒音・振動問題について</p> <p>(1) 6月に2日間測定した新幹線速度、騒音、振動のデータの解析について</p> <p>(2) 新幹線速度、騒音、振動の再測定の実施について</p> <p>(3) 新幹線橋架下の落石の調査について</p> <p>2 人口減少対策とさらなる子育て支援の充実について</p> <p>(1) 子ども医療費の通院中学3年生までの拡大について</p> <p>(2) 病児、病後児保育の拡大について</p> <p>(3) 若者定住促進助成事業について</p> <p>(4) おおさき婚活支援センターの進捗</p> <p>3 スマホに潜む危険、被害防止について</p> <p>(1) スマホ普及に伴い、被害に遭わないよう、児童生徒、18歳未満への啓発について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	28	大山 巖	<p>(2) 親が子供を守れない時代、子供の生命を守るには</p> <p>4 24時間営業のコンビニへAEDの設置について</p> <p>(1) 市内設置状況とAEDの使用状況について</p> <p>(2) 本市職員のAED研修状況</p> <p>(3) 24時間営業のコンビニへAED設置の考えについて</p> <p>1 大崎小学校教育環境整備指針について</p> <p>(1) いじめ、不登校の現状と予防対策の問題が大事な課題ながら、正確な統計はないそうである。本市におけるいじめの現状であるが、幸いに生徒児童が自殺したといったケースは発生していないが、だからとって本市の小中学校にいじめが一件もないといったことは考えられない。教育委員会でいじめの実態を把握しているとすれば、その実態はどうなっているのか、現状について詳細に説明を求める</p> <p>ア 小学校統合に関する問題点の1つ目は、少数学級から多数の学級に編入時に、先頭に浮かんでくるのがいじめ問題であり、教育委員会はいかがな考えか、伺う</p> <p>イ 小学校統合の問題点の2つ目は、多数の学級に編入することは子供には精神的に抵抗が大きくて、学校に行くことが困難、みずから不登校の原因となる心配がある。教育委員会ではどのような対策があるのか、伺う</p> <p>2 合併10年目、まちおこしの各々のお祭りについて</p> <p>(1) 自治体はそれぞれにまちづくりに大変な工夫をしている。行政が主体となって旗を振って住民とともに一体となっているが</p> <p>ア 各々の町の祭りについては、合併以前の個々の祭りより参加者の減少のためか、祭りが縮小しつつあるが、行政はこのような状態をいかがと考えるか、伺う</p> <p>イ 祭りを個々の町自体で開催することはだんだん困難になると見ている。同一の技能と能力ある警備事業等の交流的な協力をして、昔より続いた祭りを継承すべきと考えるが、いかがか伺う</p>
8	27	佐藤 勝	<p>1 おおきき元気戦略プロジェクトと課題について</p> <p>(1) 総合戦略策定の公表時期は、また、経過報告は</p> <p>(2) 26年度新規事業の本部評価はどう評価し、担当部署の制度設計は部署で情報を共有しているか</p> <p>(3) 既存事業の拡大については所属長の役割を本部長はどう指示しているか</p> <p>(4) 地域再生の拠点づくりをどう進めるのか。地域づくり協議会の自主性と協働は</p> <p>(5) 「ふるさと」自慢の人材教育と魅力ある雇用政策の取り組みは</p> <p>(6) 総合計画の策定は必要か</p>
9	13	遊佐辰雄	<p>1 平成29年南東北インターハイ相撲競技準備等の進捗状況について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	19	氏家善男	<p>(1) 会場となる鳴子スポーツセンターの改修等について ア 防災拠点にもなっている視点からも考慮すべきではないか</p> <p>(2) 会場周辺の整備及び隣地の貸借関係はどうか</p> <p>(3) 鳴子温泉のイメージアップと受け入れ体制, PR, おもてなし等について</p> <p>(4) プレインターハイについて</p> <p>2 農業振興策について</p> <p>(1) 大崎市農業振興地域整備計画について ア 策定の主旨及び経過 イ 計画策定の遅れた原因と今後の対策はどう考えているのか ウ 大崎市独自の支援策は エ 農産物の有害獣被害対策</p> <p>1 地域創生について</p> <p>(1) 国が進める地域創生の考えに対する本市の取り組みと 考えについて伺う</p> <p>2 大崎市合併 10 周年記念事業について</p> <p>(1) 開催時期と開催への進捗状況について</p> <p>(2) 市の象徴となる市木や市花等の制定について</p> <p>(3) 単なる式典で終わることのない内容にすべき</p> <p>(4) 姉妹都市との改めての調印の考えについて</p> <p>3 農業基盤整備促進事業について</p> <p>(1) 事業推進に向けて取り組むべき考えについて</p> <p>4 家畜共進会の結果と全共に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 家畜共進会の結果について</p> <p>(2) 今後の全共に向けた取り組みについて</p> <p>(3) 優良牛の保留と支援について</p>
11	10	加藤善市	<p>1 合併事業について</p> <p>(1) 市花, 市木等の選考の進捗ぐあい</p> <p>(2) 合併記念事業として大崎の魅力を全国に広げるため「ツールド大崎」を開催しては</p> <p>2 志田橋の活用方法について</p>
12	6	中鉢和三郎	<p>1 昨今多発する大崎市民病院本院における不祥事について</p> <p>(1) 昨年7月に新本院が開院した大崎市民病院において, 電子カルテの不正閲覧, 正常な卵巣の摘出という医療事故といった不祥事が立て続けに発生している。</p> <p>個々の事件, 事故の発生に対し, その原因を調査し, 対策がそれぞれ講ぜられているものと思うが, 共通の要因として, 組織風土の問題があるのではないかと。</p> <p>例えば, 不正閲覧に対する内部の自浄作用がなぜ働かなかったのか。ミスが発生を事前に予知できた者がいても指摘できない雰囲気があったのではないかと。など, 院内が風通しの悪い職場環境になっていたと思うが, 所見を伺う。</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>また、不正閲覧ではプライバシーに関する職員の認識の問題が、医療事故では初歩的なヒューマンエラーの問題が浮き彫りになったが、基本的なコンプライアンスの遵守、安全教育といった職場の基本ルール（基礎教育）が軽んじられる組織風土になってしまっているように思われるが、所見を伺う。</p> <p>さらに、そのような事態に至った責任を事業管理者及び設置者の市長がどのように取るつもりか、伺う</p> <p>2 新図書館建設について</p> <p>(1) 第2回臨時会にて、新図書館建設工事の工事請負契約締結が承認された。来年12月の完成を目指し施設建設がいよいよ始まる。しかし、目に見えるハードの整備とは対照的に、新図書館がどのように市民に利用されるのかが見えてこない。その問題意識から、以下について質す</p> <p>ア これからの図書館は「創造ひろば」と表現されるが、新図書館はどのような運営がされるのか、伺う</p> <p>イ これまで多くの意見が市民から寄せられた。そうした市民の想いが新図書館建設にどのように生かされたのかしっかりと記録に残し公開すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>ウ 新図書館建設に関する情報が市のHPには極めて少ない。建設費用の予想外の増大に関する情報や、今後検討される新図書館のソフト的な面での整備に関する情報を積極的に市のHPで開示すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 大崎市観光振興ビジョンについて</p> <p>(1) 観光ビジョンがほぼ完成となった。「取り組むべき課題」「3つの強化目標」「戦略と行動指針」が明記され、いよいよ大崎市の観光政策が本格的に動き出す。第6章には目標数値が明記されたが、目標の設定根拠と、どのようにして達成するのか、伺う</p>
13	22	木内知子	<p>1 児童館の設置について</p> <p>(1) 松山地域における児童生徒の放課後の居場所として、18歳未満の子供たちが自由に安心して利用できる児童館の設置ができないか</p> <p>2 防災無線整備における効果的な対応と運用について</p> <p>(1) デジタル防災行政無線整備事業の進捗状況について</p> <p>(2) 難聴箇所への調査と対応について</p> <p>(3) 市民にとって効果的な運用になっているか</p> <p>3 松山駅前マリスの商業用地の販売戦略及び活用策について</p> <p>(1) 現在、販売戦略を講じて実践しているのか</p> <p>(2) 活用策として、公設民営の商業施設設置を決断してもいいのではないか</p>
14	21	門間 忠	<p>1 地域防災計画原子力災害対策編について</p> <p>(1) 県の原子力災害避難計画では、女川原子力発電所の重篤</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	17	山田和明	<p>事故の場合、避難対象となる石巻市の住民を大崎市で受け入れることになっているが、その詳細計画はできているのか</p> <p>(2) 放射能プルームの拡散状況や、地震等の複合災害の場合は、大崎市民も他地域への避難や一時避難が必要となるが、その場合の避難誘導や避難計画も必要と思うが、伺う</p> <p>(3) 市の防災計画では各地域の指定避難所、一時避難所の数が大幅に違っているが、地区集会施設等の一時避難所取り扱いについて</p> <p>2 古川支援学校について</p> <p>(1) 古川支援学校の狭隘化解消について、県当局との相談や協議の経過と見通しについていかがに対応されているか、伺う</p> <p>1 少子化社会対策に向けた結婚、子育て支援の取り組みについて</p> <p>(1) 結婚した世帯に対する家賃補助やクーポン券の交付などの経済的支援について</p> <p>(2) 非正規雇用労働者の正社員への転換や処置改善について</p> <p>(3) 希望する女性が結婚、妊娠、出産前後で継続して就業できるような環境整備について</p> <p>(4) 少子化対策条例の制定について</p> <p>2 防犯対策について</p> <p>(1) 防犯カメラの設置と従来設置されている防犯カメラの更新について</p> <p>(2) 防犯灯のLED化導入の推進について</p> <p>3 道の駅構想について</p> <p>(1) 大崎市の道の駅整備に関する基本方針について</p> <p>(2) 地域、団体などから道の駅構想が提案されているが、市のバックアップ体制について</p> <p>4 空き家の処分後押しについて</p> <p>(1) 所有者がわからないなど対処が難しい空き家の対策を進めることについて</p> <p>(2) 特定空家の処分の進め方について</p>
16	5	佐藤弘樹	<p>1 各総合支所の職員配置と今後の庁舎建設見込み</p> <p>2 米価下落対策と農業経営基盤強化対策</p> <p>3 シティプロモーションの成果と誘客向上策</p> <p>4 具体的な観光戦略への考え</p> <p>5 移住定住化促進への取り組み</p> <p>6 私立幼稚園と連携した子育て支援の充実</p> <p>7 生活保護世帯の自立支援推進策</p>
17	12	関 武徳	<p>1 恒常的ににぎわいが持続するまちなか再生への支援と行政の担う責務</p> <p>(1) 七日町まちなか再生計画の事業着手への進捗はどのよ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
18	1	佐藤仁一郎	<p>うな段階か</p> <p>(2) 事業構想は復興まちづくり計画に描いたまちなか機能と整合するものか</p> <p>(3) 事業手法やスケジュールはどう計画されているのか</p> <p>(4) 行政の支援体制はどう計画されているのか</p> <p>(5) 行政の事業参加の考えはどうか</p> <p>(6) 本庁舎建設や病院跡地計画, 近隣街区における相乗効果をどう生み出す考えか</p> <p>2 安全, 快適な居住環境への取り組み</p> <p>(1) アパート等賃貸住宅建設への適正数対策が必要ではないか</p> <p>(2) 政策空き家としている市営住宅の解体着手の目途は</p> <p>(3) 市営住宅の管理委託による効果は発揮されているのか</p> <p>1 大崎市の目指す在宅医療・介護の連携像について</p> <p>(1) 在宅医療・介護の推進の課題</p> <p>(2) 「医療から介護へ」, 「施設から地域へ」に向かうときの介護（地域包括ケアシステム）の将来像は</p> <p>(3) 在宅医療・介護の連携推進の方向性</p> <p>2 三本木地域中心市街地における児童生徒の交通安全対策について</p> <p>(1) 通学時における小中学生の交通安全対策について</p> <p>(2) 市道境堀線の方向性について</p>	